MAEDAKOSEN

group

CORPORATE PROFILE

[ごあいさつ]

TOP MESSAGE

MAEDAKOSEN

新しい結合によるイノベーションで
世の中に新しいマーケットを創出する

私たちのグループ中核企業である前田工繊は、1918 年に人絹の
機織工場として出発し、1972 年の設立以来、繊維と土木の技術領域を
融合した「ジオシンセティックス」という新技術を基盤に、
樹脂や金属、木材などに関連する事業・企業を取り込みながら、
飛躍的な成長を遂げてまいりました。
これからも前田工繊グループは、インフラというフィールドで
新しい結合によるイノベーションを生み出し、
世の中に新しいマーケットを創出してまいります。

前田工繊株式会社 代表取締役会長 兼 CEO　前田 征利

前田工繊グループは、挑戦を続ける
ベンチャー企業の集合体

前田工繊グループは、M&A を積極的に活用することで、
グループの拡大を図ってまいりました。
グループの事業範囲は、建設資材分野に留まらず、
自動車、農業、水産業、医療など、広範囲にわたっています。
今後も「地方の」「特徴あるモノづくり企業」を混ぜて、
新たな分野に挑戦すると共に、グループ各社が地域に貢献し、
社会から信頼される企業であり続けるための努力を重ねてまいります。

前田工繊株式会社 代表取締役社長 兼 COO　前田 尚宏

[グループ理念]

基本理念　人と人との良いつながりが
すべての基本であり目標です

経営理念　私たちは　独自の知恵と技術で
持続可能な地球　そして
安心・安全で豊かな社会を創るために
貢献してまいります

行動理念
[MDK五徳]と[仁]
[知行合一]

1. 人も企業も「真っ直ぐ」生きよう　義
2. 失敗を恐れず、無限[∞]の可能性に挑戦しよう　勇
3. 現場へ出て、本質を見抜き、本気で変えよう　信
4. どこにもないモノを、どこにもない方法で、創り出そう　智
5. 人も企業も学び続けよう　礼

1974年

本社・工場を新築

1994年

春江本社工場新築

2007年

東京証券取引所市場第二部上場

2012年

東京証券取引所市場第一部指定

1918 | 1970 | 1985 | 2000 | 2005 | 2010

1918年
前田機業場創業

1972
前田工織設立

1985年
テープテック設立

2002年
吸収合併

1998年
フォルカエンジ設立

2002年
太田工業子会社化

2004年 ゼオン環境資材から
プラスチック擬木、
道路資材、土木資材事業譲受

2005年
日本不織布設立

2008年
吸収合併

2010年
吸収合併

2009年
サングリーン子会社化

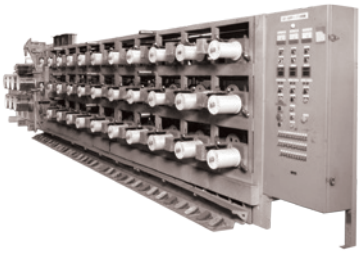
2009年
マグネ子会社化

2011
北原電牧子会社化

2011
前田工織ベトナム設立

2012
テクノス子会社化

2013
ワシマイヤー・ワシ興産
子会社化
ワシマイヤーにワシ興産・
日本BBS吸収合併



[グループ沿革]

group HISTORY

時代を超えて様々な成長分野に拡がる前田工織グループ

国土のインフラづくり、産業界のインフラづくりから、農業資材、自動車用鍛造ホイール、医療分野まで、
多岐にわたる事業を擁する前田工織グループ。
その多様性の組み合わせが、それぞれの事業、会社を連携させる単なるシナジーを越えた、
新しい結合によるイノベーションを創出し、新たなマーケットを創造します。

2016年

第16回ポーター賞

2018年

第8回「日本でいちばん
大切にしたい会社」大賞

2019年

第55回電気保安功労者
経済産業大臣表彰

2023年

令和4年度土木学会　技術開発賞

2015　2020　2025

2018
創業100周年

2022
設立50周年

前田工繊株式会社

吸収合併　吸収合併

2016年
グリーンシステム
子会社化

2021年
エスケー電気工業
子会社化

未来のアグリ株式会社

MAEDAKOSEN VIETNAM CO.,LTD.

未来コーセン株式会社

2016年 吸収合併

2014年 ダイイチ子会社化

BBSジャパン株式会社

BBS Motorsport GmbH

2015
未来テクノ設立、
オガワテクノから事業譲受

未来テクノ株式会社

2018
釧路ハイミール子会社化

株式会社 釧路ハイミール

2019
沖縄コーセン設立

沖縄コーセン株式会社

2021
セブンケミカル子会社化

株式会社 セブンケミカル

2024
犀工房子会社化

株式会社 犀工房

2025
三井化学産資子会社化

前田工繊産資株式会社

2017
前田工繊キャピタル設立

前田工繊キャピタル合同会社

インフラの整備・維持に
ジオシンセティックス技術で
国土を創る、守る。
MAEDAKOSEN
Maedakosen Industrial Products
OKINAWA KOSEN
農水産業の
未来に
日本の農業・水産業に
イノベーションを起こす。
MIRAI no Agri
KHM
安心の実績を
皆様に
確かな実績と独自のアイデアで
暮らしを豊かに。
犀工房
MIRAI TECHNO
確かな技術
縫製（ターポリン・帆布）高周波ウェルダー加工に
妥協なき熟練の技術者の力が集結。

「遊び」の創造に

もっと先へ、
まだ見たことのない風景へ。

前田工繊は
混ぜる会社です
人と技術を混ぜる会社です
混ざると　化学反応が　起きるのです

イノベーションは化学反応の果実
世界一のイノベーターを目指し
社会のあるべき姿　人間のあるべき姿を
追い求めていきます

繊維が繋ぐ可能性に

自社内での一貫生産・加工を実現。
想像を形に。

前田工繊株式会社

MAEDAKOSEN

ソーシャルインフラ事業

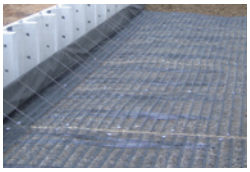
（土木・建築資材）

土木と繊維の技術を融合
「国土を守る」インフラづくり

前田工繊では、道路・橋梁といった交通インフラや、老朽化したコンクリート構造物の補修・補強をはじめ、用途に応じた様々な資材・工法を開発。長年培ってきた独自の技術で、ジオテキスタイルの様々なニーズに応えてきました。今後も、土木技術と繊維の特性を融合させた「ジオシンセティックス技術（Geo:土地＋Synthetics：合成繊維）」のパイオニアとして、付加価値の高い製品を生み出す企業であり続けます。

より災害に強い国土づくりに貢献

事業内容



盛土・地盤補強

国土の狭い日本では、盛土補強による土地の有効利用と災害の未然防止が、土木の大きなテーマの一つになっています。前田工繊のジオテキスタイルによる盛土補強・軟弱地盤安定材各製品・工法は、道路や鉄道、宅地や工場用地の造成工事などのインフラをサポートしています。

緑化・防草

盛土や法面の侵食・土砂流出を防ぎながら、施工現場本来の自然に合った緑化を促進します。ワラ素材のものや間伐材を使用したリサイクル製品、分解し土に還元される腐食素材などを用いた資材で、環境にやさしい早期緑化を実現します。

斜面対策

日本の国土は、地震、台風、豪雨、豪雪などの自然災害が起こりやすい環境にあります。こうした自然災害が経済に与える損害は深刻です。自然災害から防護する、土とジオテキスタイルを使用した新しい災害対策工法および製品で、防災・復旧の取り組みを支援します。

公園・エクステリア

多様なニーズにお応えするために、くぬぎ木肌を模し、再生プラスチックを原料とした「プラ擬木」、木粉を混合し天然木と同レベルの質感・加工性が特長の「Kankyo-wood Ⅱ」をご用意しています。豊富なバリエーションで安らぎの景観づくりのお手伝いをするエクステリアアイテムです。

排水・吸出し防止・遮水

盛土工や護岸工において、浸透水や水流は土砂災害や崩落事故の一因となりかねません。効果的に水を「排出」、汚れた水が地中に広まらないよう「止水」、砕石や土壌の「流出防止」など、前田工繊では用途・目的に合わせた排水材や遮水材、吸出し防止材・洗掘防止材を各種提供しています。

コンクリート構造物補修・補強

高度経済成長期に建設されたコンクリート構造物が老朽化を迎えるなか、適切な処置による維持管理、長寿命化を図ることが不可欠です。前田工繊の補修・補強・はく落防止対策用資材は、高強度繊維材料、樹脂材料からポリマーセメントモルタルまで、豊富なラインアップにより効果的で長寿命な耐震補強を提案します。

河川・海洋

従来のコンクリートに覆われた河川工事に代わり、治水面での安全性を保ちながら自然生態系をそのままに景観にも配慮して工事を行う「自然と調和した川づくり」の視点に立ち、自然豊かな河川のための工法や資材を多数取り揃えております。また、海洋や港湾で使用される各種フェンスは、様々な工事で発生する汚濁水や災害・事故での流出油の拡散を防止し、環境への影響を最小限に抑えます。

その他資材

不織布及びアスファルト改質材など、身近な暮らしのシーンで活躍する様々な資材も数多く開発。安全で快適なインフラづくりを支えています。

主な事業所

福井本社・工場

丸岡工場

坂井工場

能登川工場

前田工繊産資株式会社

Maedakosen Industrial Products

ソーシャルインフラ事業

（土木・建築・配管資材、合成樹脂製品）

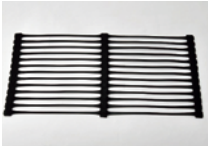
産業資材でくらしを支える

前田工繊産資は、インフラ・土木建築事業の様々な分野へ、「安全なくらしをまもる」「快適なくらしをつくる」「未来のくらしへつなぐ」ための高性能で高品質な製品・システム・サービスを安定供給し、豊かで持続可能な社会づくりに貢献しています。

独自で新製品・新工法の開発を推進する一方、大学や官庁、公共機関との共同研究なども幅広く行い、より広い視野で未来への可能性を追求しています。

未来へつなぐ産業資材ソリューションを提供

事業内容

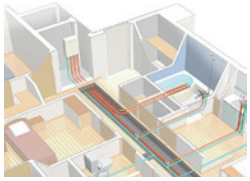


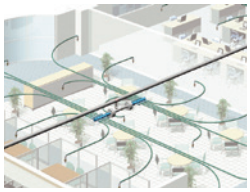
土木資材事業

ジオテキスタイル補強土のパイオニアとして、盛土や軟弱地盤の安定化を図るジオグリッドや排水材、多様な形状で顧客の要望に応じるジオネットなど、付加価値の高い産業資材で道路・鉄道・造成工事などのインフラ整備に貢献しています。

建築資材事業

合成樹脂をベースに、高機能で環境に配慮した住宅資材やコンクリート構造物用防食材、点字タイルなど特色ある製品を幅広く取り揃えております。優れた性能と素早い硬化による短工期化が高い評価に繋がっています。





エルメックス事業

世界で初めて融着可能な架橋ポリエチレン配管システムを提供し、給水給湯だけでなく消防用途のスプリンクラーとしても広く設置されています。各住戸毎に工場で組み立て現場に持ち込むプレハブ工法をいち早く普及させ快適安全な暮らしと、現場作業のスピード化に貢献しています。

ガスパイプ事業

都市ガス導管網、LPガス導管網には欠かせないガス用ポリエチレン管、継手を1972年にいちはやく技術導入し、その後「腐食しない」「地震に強い」「軽い」といった優れた性能が認められ、全国のガス事業者様に採用いただいています。これからもガス導管網の主役として安全で安心したガス供給を支えていきます。

主な事業所

本社

大竹事業所

埼玉事業所

沖縄コーセン株式会社

OKINAWA KOSEN

ソーシャルインフラ事業
（土木資材）

他社には無い総合力で
沖縄のインフラ整備に貢献

沖縄コーセンは、沖縄を中心にインフラの整備・維持に携わっています。地元密着の営業体制と前田工繊グループの多彩な商品群を活用し設計計画段階の提案から現場施工完了まで幅広くお手伝いいたします。また、沖縄の美しい海を守る為、汚濁防止膜の販売、リースなどを通して環境保護にも貢献します。

MAEDAKOSEN VIETNAM

ソーシャルインフラ事業

（土木・建築資材）

ベトナムから国内外の技術や販売ネットワークを活用した市場拡大を

生産のグローバル化が進む中で、製造業の海外拠点はますます重要な役割を担っています。今後の市場の成長が見込まれるベトナムなどの ASEAN 諸国では、日本企業が海外進出しやすい地域でもあり注目されています。このような中、成長著しいアジアへのインフラ需要を取り込むため、2011年にベトナムに海外初の拠点である前田工繊ベトナム有限会社を設立いたしました。生産能力の増強をはかると共に、生産品目の多品種化、ASEAN諸国への営業強化等販路拡大に尽力してまいります。

未来のアグリ株式会社

MIRAI no Agri

ソーシャルインフラ事業

（獣害対策製品・農業資材）

放牧資材や酪農用品
獣害対策も専門家が解決

日本の食料自給率は、長期的な低下傾向にあり、世界の食料需給の影響を受けやすい一方、日本の農業生産の将来は多くの不安定要因をかかえています。未来のアグリは、獣害対策製品、電気柵、放牧施設、園芸用ハウス等、それぞれの農業資材で長年培ってきた技術やノウハウを活用することで、農業市場でのさらなる事業拡大を図り、日本の農業の未来に貢献してまいります。

農業にイノベーションを起こし、農業の進化をサポート

事業内容

獣害対策

近年、獣害対策は金網や電気柵（物理柵・心理柵）による防除から罠による捕獲にシフトしてきています。未来のアグリでは、ICTを用いた自動監視と遠隔操作で、最適頭数の捕獲を実現。対象動物に合わせた構造・設計のさまざまな罠を扱っており、設置も簡単。独自の技術で効率的な捕獲をサポートします。

ハウス事業

ベストカップルハウスが2009年エコプロダクツ大賞を、トリプルハウスが2012年省エネ大賞審査員特別賞を受賞しました。空気層を利用した2層フィルムを用いることにより、優れた保温力を発揮し、燃料費削減・CO2排出削減に貢献。施設園芸ハウスだけでなく、簡易牛舎や堆肥舎などにも多くの実績があります。

畜産・酪農

未来のアグリは、日本で初めて電牧器を開発。元々は放牧している家畜の逃走防止のための放牧柵として開発されましたが、その後は獣害対策のための防除柵として使用されています。また、牛の乗降台や門扉などの放牧資材に関しても、長年のノウハウから最適な方法を提案します。

牛舎関連

牛舎内のスタンチョン等の施設は元々旧北原電牧（株）の得意とするところでしたが、農業用ハウスメーカーである旧（株）グリーンシステムと合併したことで、簡易牛舎の設計・販売も手掛けることができるようになり、牛舎とセットでご提案できるようになりました。

主な事業所

札幌本社

千歳工場

瀬上工場

未来テクノ株式会社

MIRAI TECHNO

ソーシャルインフラ事業
（防災・レジャー用製品）

細かな要望から設計し、開発から納品まで一貫して生産

特注品や量産に対応するため、様々な種類のミシン・ウェルダー溶着機を数百台所有。要望に合わせた製品設計、量産を行うことができます。また、仕入れの幅も広く、グループ会社間での共同開発などもあり、柔軟な提案が可能です。生産は膜材の加工50年以上の幅広い経験を持つ職人が担当。開発から納品までを一社で承ることで、キメの細かいサービスと短納期・高品質を実現しています。

厚物生地・大型縫製など、独自の加工技術であらゆるニーズに対応

事業内容

国内一貫生産による、お客様の要望に合わせた企画・生産。

国内のテントメーカーの草分け的な小川テントから引き継いだ製造・設計ノウハウを活かし、お客さまのご要望を叶えた商品の設計・開発・納品までを一括で承っています。テント倉庫や各種シートに車両幌はもちろん、荷卸マット・オイルフェンス・シルトフェンス・簡易浴槽・貯水タンクなど様々な製品を製作可能です。数多くのターポリンや帆布の縫製・ウェルダー加工設備を持ち、開発から納品までを一社で承ることで、キメの細かいサービスと短納期・高品質を実現しています。

［取扱商品］

オリジナルバッグ「MI バッグ」
自衛隊装備品製作の信頼と実績、厚物生地の縫製加工技術を駆使し、装備品と「同じポリシー」を受け継いで製作したバッグです。

貯水タンク（自立式）
フレーム不要で自立し、コンパクトに収納可能。災害時の水の確保、提供に役立ち、簡易浴槽との併用もできます。

自衛隊装備品（各種）
隊員が使用するバッグや装備品などの縫製加工を行っています。

アイソレーションガウン
前田工繊のPP製スパンボンド不織布を使用した医療用ガウンです。
国内で製造し、安心・安全をお届けします。

野外浴槽
災害時に活躍する、組み立て式の浴槽です。陸上自衛隊への納入実績があり、実際に災害派遣で使用されています。

充気式オイルフェンス
空気を浮力体としたオイルフェンスです。従来の発泡スチロールを使用したオイルフェンスと比較し、コンパクトに収納が可能です。

sunsetclimax Cell 01
アウトドアブランドのオリジナルテントを製作。独創的なデザインと機能性を、高い技術と品質で実現しました。

主な事業所

水沢工場

胆沢工場

株式会社 セブンケミカル

埼玉事業所

SEVEN CHEMICAL

ソーシャルインフラ事業

（外壁用防水材、保護・仕上げ材）

建造物の状態・塗料の特性を理解し 高機能な外壁防水材を開発・提供

セブンケミカルは、外壁の意匠性を保ちながら優れた防水機能を発揮する「透明塗膜防水材」を業界ではじめて開発・製造し、この分野をリードし続ける外壁防水材のパイオニアです。皆さまの暮らしをより安全・快適にする製品を開発・製造し、創業より積み重ねた確かな実績と小回りのきく営業体制で、外装材の様々な課題を解決する製品を提供しています。

株式会社 釧路ハイミール

本社・工場

KUSHIRO HIGHMEAL

ソーシャルインフラ事業

（フィッシュミール・魚油）

限りある水産資源を飼料原料として有効活用し、皆さまの「食生活」に貢献

釧路近海で漁獲された魚や水産加工場から出された加工残さ（頭・中骨・骨等）を原料として、養殖魚の餌となるフィッシュミールと魚油、農作物の肥料となるフィッシュソリュブルを製造。こだわりは品質。原材料・生産・検査記録などの「トレーサビリティ」を明確にし、工場や機器類は定期的な清掃により、常に清潔を保っています。また、より安全性を高めるため、ユーザーの要望に応じて飼料添加物（酸化防止剤）を一切使用しない無添加製品づくりにも力を入れています。

株式会社 犀工房

SAIKOBO

ソーシャルインフラ事業

（遊具・幼稚園、保育園用備品）

多彩な素材と造形力で オンリーワンの遊具を創造

立体造形のノウハウを生かし、自由自在に形を創造。安全性と品質にこだわり抜いた一点ものの遊具を、お客様の要望から企画・設計し、様々な素材を組み合わせ丁寧に作りあげます。時代のニーズに合わせ進化を続けながら、小さな子供たちの社会性と想像力を育む"遊び"の空間づくりに貢献しています。

共に作りあげるオーダーメイド製品で、お客様の夢や希望を形に

事業内容

園庭遊具事業

当社の強みである繊維強化プラスチック（FRP）製の立体造形物と、木や金属といった別の素材を組み合わせ、世界にたったひとつのオリジナル遊具を実現。子供たちの健やかな感性を育む、デザイン力と安全性を両立した遊具の企画・製造を行っています。

製品

木製遊具

木の温もりを感じられる木製遊具は、景観との相性も良く、あらゆる園庭に馴染みやすいです。木材に加工を施すことで、木材特有の課題である外部環境による劣化を抑制した耐久性にも優れた製品です。

鉄製遊具

鮮やかな発色で園庭のイメージを表現しやすい鉄製遊具は、耐久性・強度が高く大型製品でも長年にわたりご使用いただけます。犀工房では適切な塗装加工により剥がれや錆、腐食を抑制し、安全性と耐久性を高めています。

FRP 製遊具

職人の手作業により生まれる自然な凹凸や曲線が特徴の遊具は、子供たちがわくわくするような世界観を表現します。木製や鉄製では出来ない自由な造形がFRPの特徴の一つです。

園庭・室内備品

幼稚園・保育園で使用するシューズラック、手洗い場、プール等、幼児期の子供たちにとって使い勝手がよく、楽しく快適に過ごせる工夫を施した各種備品を取り揃えています。

主な事業所

本社・工場

BBSジャパン株式会社

BBS Japan

インダストリーインフラ事業

（自動車用鍛造ホイール）

国際的な自動車メーカーやレーシングチームが認めた品質

量産ホイールの製造において、「鍛造でのみ」つくり続ける、独創のメーカー。「世界最高のホイールをつくる」という信念のもと、技術とノウハウを磨き上げています。BBSで製造されるホイールはメジャーモータースポーツに多く供給され、一般自動車向けについては、国内・海外のカーメーカーに純正採用されています。鍛造プレス機による独自の製法を用いることで、強靭で軽量なホイールを創り出しています。

世界最高レベルの鍛造技術を誇る「BBS」ブランド

事業内容

息づくのは、モータースポーツのDNA

モータースポーツとの深い関わりの中で磨かれてきたBBSブランド。開発においては実走行データだけでなく、解析ソフトでは得られない微細な走行感覚までもテストしています。レーシングホイールも市販ホイールも同じファクトリー、同じスタッフの手でつくられていますが、それは、一般のドライバーの方にこそ、極限の世界で鍛えられた走りの感性を感じてほしいからです。

走りのための究極のデザイン

BBSの代名詞であり、すべてのラインアップに通底する独自のクロススポークデザインは、「力学を突き詰めたフォルム」。長年積み重ねてきた鍛造技術が可能にする、究極の機能美といえます。

最高への志。鍛錬比「4」以上

BBSでは、時間と手間をかけて地金を鍛造で押しつぶし、1/4以上にまで圧縮。この鍛錬比が、細部に至るまで美しい鍛流線（メタルフローライン）の形成を可能にしています。

新素材への飽くなき挑戦

世界一軽量なホイールをめざし、2011年、従来のアルミと比べて圧倒的な強度を誇る世界初の超超ジュラルミン鍛造ホイールを開発。実走行の繰り返しでデータを積み重ね、理想のバランスを実現させました。

軽く、強く、しなる「強靭性」の追求

軽量性と剛性の高さだけでは、モータースポーツの世界では生き残れません。急激な衝撃をしなりで制御し、割れることを防ぐ。その「踏ん張る力」すなわち強靭性こそが、鍛造技術の最重要課題です。

人の目と手で精緻に仕上げる

表面にエッジが少しでも残っていると腐食につながりかねないため、表面の不具合は何段階にもわたる検査で洗い出して滑らかに仕上げます。匠の技がBBSの品質を支えます。

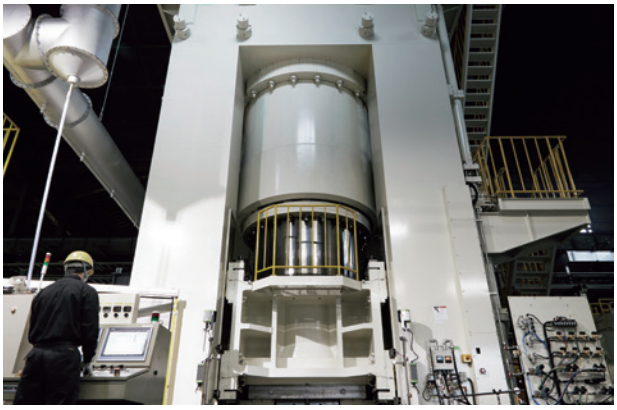
一人ひとりが「BBS ファン」として、モノづくりに挑む

モノづくりの基本は、お客様の意見や要望にひとつずつ真摯に対応し、製品に反映させること。わたしたちは、お客様の視点を超えた使い手としてBBSを見つめ、その熱意でさらなる高みを目指します。

主な事業所

高岡本社・工場

四日市工場



BBSの歴史は、創業者の熱い想いから始まった

モータースポーツに求められる、速さと強靭さ。
アルミ製糸巻きビーム製造で培った日本の鍛造技術と、
ドイツのモータースポーツ界で研鑽を積んだホイール製造技術を掛け合わせた時、
圧倒的な軽さから生まれる速さと強靭さ、
そして美しさを兼ね備えた鍛造ホイールが誕生しました。
そこには、BBS 創業者の、自分たちの技術で
“優れたホイールを作りたい” という熱い想いがありました。

鍛造技術をF1用ホイールへ

様々なレースで技術を磨いてきた BBS は、
フェラーリ F1 チームからの依頼を受け、
1992 年に世界で初めて F1 用マグネシウム
鍛造ホイールを開発。
2022 年から 2025 年には F1、NASCAR の全チームへホイールを独占供給。
モータースポーツ界における長年の実績と信頼の証といえます。
そして、レーシングホイールの思想、技術は市販ホイールにも受け継がれています。

新素材、新技術そして美しさへの挑戦は続く

2024 年、世界初の超超ジュラルミンホイールの誕生以来、
10 年ぶりに BBS 独自の新素材「FORTEGA」を開発。これからの時代を見据え、
大型の車両にも対応できる強さとしなやかさ、軽さを実現しました。
さらに BBS ならではの美しいデザインでドライバーを魅了。
今後も、皆様から愛されるホイールを目指して挑戦を続けてまいります。

本社

BBS Motorsport GmbH

インダストリーインフラ事業

（自動車用鍛造ホイール）

妥協なきクラフトマンシップを基に
世界最高レベルの鍛造技術でレーシングホイールを製造

1970年に設立されたドイツBBS社の世界的ブランドを継承。クラフトマンシップが活きるBBSの鍛造ホイールは、時代や流行を超越した普遍的デザインで今なお多くのファンを魅了し続けています。BBS製造のホイールはモータースポーツ分野で数多くの採用実績があり、そこで培った技術を活かし、自社ブランドおよび国内・海外の数多くのカーメーカーに供給しております。

未来コーセン株式会社

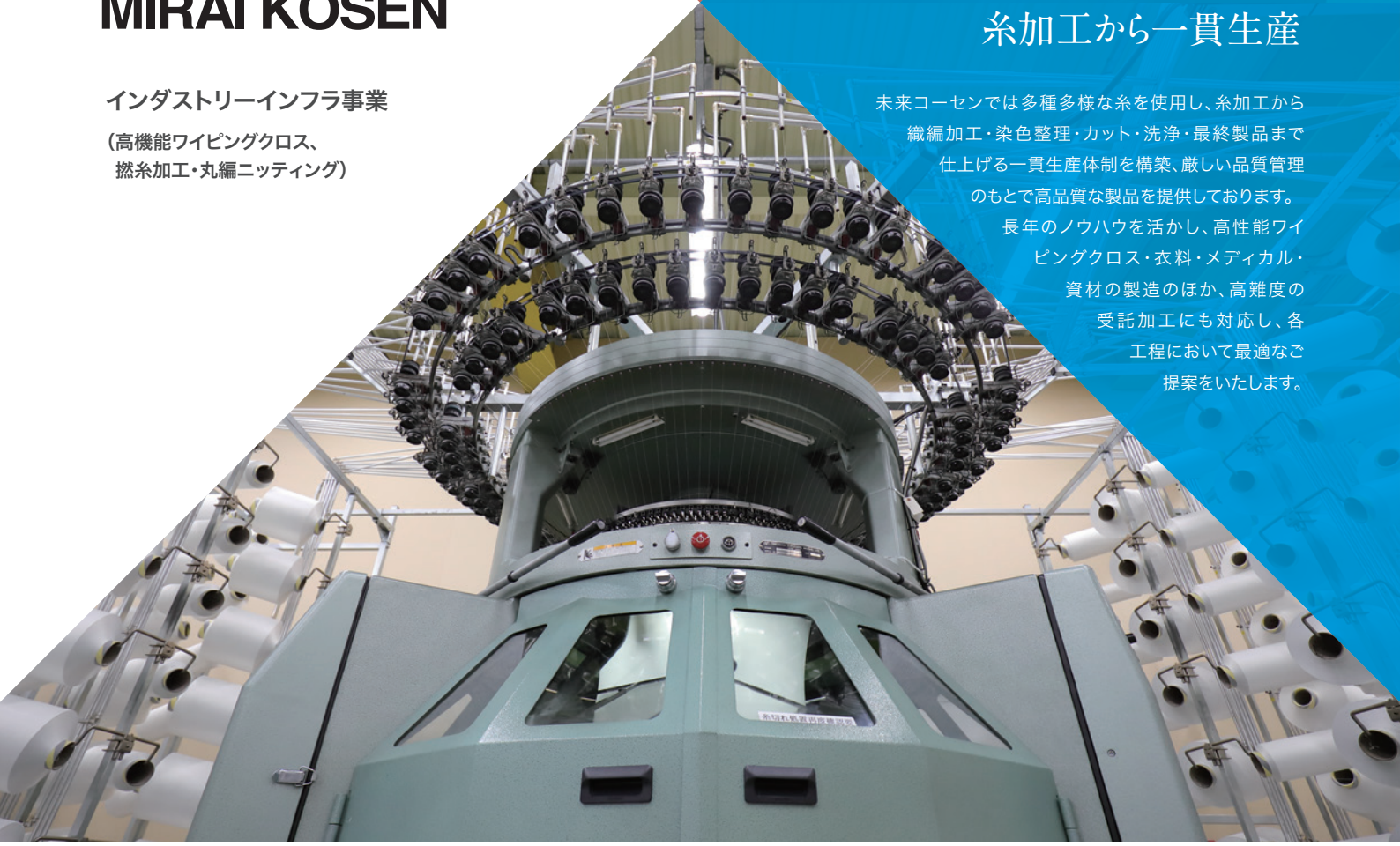
MIRAI KOSEN

インダストリーインフラ事業

（高機能ワイピングクロス、
撚糸加工・丸編ニッティング）

培った高性能繊維の技術で
糸加工から一貫生産

未来コーセンでは多種多様な糸を使用し、糸加工から織編加工・染色整理・カット・洗浄・最終製品まで仕上げる一貫生産体制を構築、厳しい品質管理のもとで高品質な製品を提供しております。長年のノウハウを活かし、高性能ワイピングクロス・衣料・メディカル・資材の製造のほか、高難度の受託加工にも対応し、各工程において最適なご提案をいたします。



一本の糸から始まる繊維の可能性をカタチに

事業内容

ワイピングクロス事業

クリーンルーム用の高洗浄品質の長繊維クリーンワイパーを製造・販売しています。カット面からの毛羽立ちと発塵を防ぎ、拭き跡を残すことなく水や油を素早く吸収する、ハイスペックなワイピングクロスを提供します。

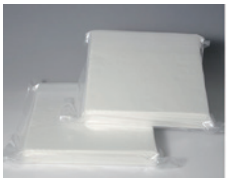
加工糸・ニット事業

ポリエステル繊維は撚りをかけ熱や延伸を加えたり、複数の糸を組み合わせることで新たな機能性や風合、外観を生み出すことができます。加工糸とニットの一貫生産体制を強みに幅広い分野へ素材を送りだしています。

[取扱商品]

マルチプルワイプ

ポリエステル100%のレギュラー糸を使用し、低コスト化。大量使用に最適で、精密なふき取りが可能です。



ミュード

極細糸＋丸編仕様の高級クリーンワイパー。ミクロの汚れを取り除き再汚染がありません。

テクノワイパー手袋

超極細繊維を使用した高性能編物ワイピングクロスを使用し、製品への手脂の付着を防止します。

導電性ワイピングクロス

超極細繊維使用の高性能クロスに導電性を付与。静電気の発生を抑えながら拭き取りが可能です。

[用途]

メディカル

一貫生産による厳しい品質管理のもと生産された素材は、医療現場で使用されています。

スポーツ

吸汗速乾・UVカット性を有する機能糸、膨らみや軽量感、ストレッチ性を付与した素材の生産を行っています。

衣料

要求される性能を付与した素材は、ファッション衣料やオフィスユニフォーム・作業着などに幅広く使用されています。

資材

天然繊維に比べ強度に優れケアが簡単なため、カーテン、椅子張り、カーシート等さまざまな用途に使用されています。

主な事業所

本社・福井工場

金沢工場

[グループ概要]

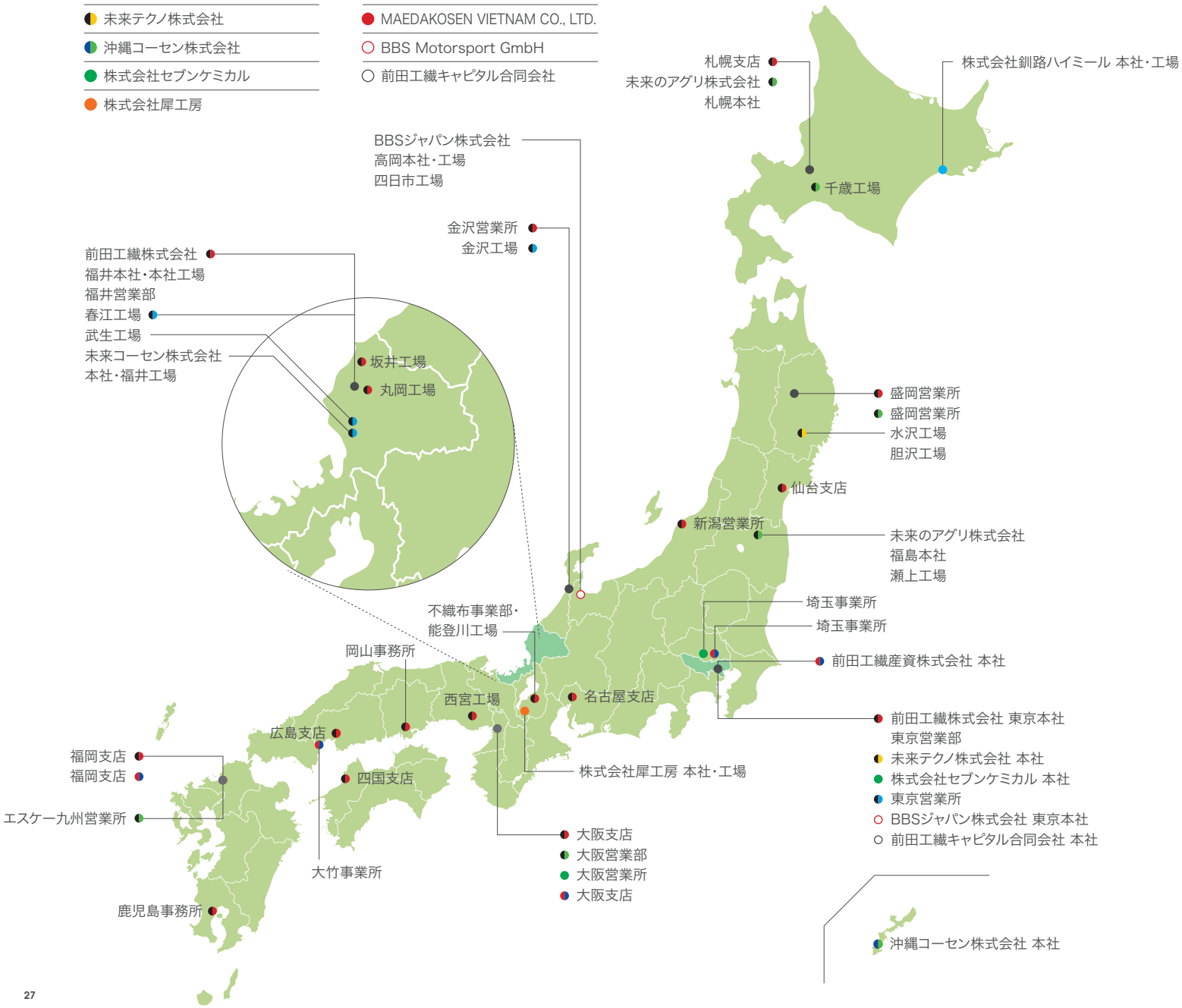
CORPORATE DATA

前田工繊グループのネットワーク

領域を深掘りしてさらなる改善・改良に取り組む一方、そうした、いわば“縦軸の展開”に留まらず、
かつて繊維と土木を融合させたように、異なる領域を結び付ける“横軸の展開”で新たな結合を生み出してきました。

[グループネットワーク]

- 前田工繊株式会社
- 前田工繊産資株式会社
- 未来のアグリ株式会社
- 未来テクノ株式会社
- 沖縄コーセン株式会社
- 株式会社セブンケミカル
- 株式会社犀工房
- 株式会社釧路ハイミール
- BBSジャパン株式会社
- 未来コーセン株式会社
- MAEDAKOSEN VIETNAM CO., LTD.
- BBS Motorsport GmbH
- 前田工繊キャピタル合同会社



[国内]

前田工繊株式会社

創　　業 ：1918年(大正7年)
設　　立 ：1972年(昭和47年)11月25日
従 業 員 ：1,445名(2025年6月30日現在)(連結)
資 本 金 ：6,422百万円(2025年6月30日現在)
売 上 高 ：64,108百万円(2025年6月30日現在)(連結)
株 式 上 場 ：東京証券取引所プライム市場(証券コード：7821)
事 業 内 容 ：土木資材、建築資材、各種不織布の製造・販売
ISO9001認証登録 ／登録番号 ：13211-A
登録事業所 ：福井本社工場、丸岡工場、
能登川工場、西宮工場、春日工場、坂井工場
ISO14001認証登録／登録番号 ：13211-B
登録事業所 ：福井本社工場、丸岡工場、
能登川工場、西宮工場、春日工場、坂井工場
事 業 所 ：東京本社 〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルA館12F
福井本社・本社工場 〒919-0422 福井県坂井市春江町沖布目38-3 他
電 話 番 号 ：03-6402-3944(東京本社)
0776-51-3535(福井本社)
https://www.maedakosen.jp

前田工繊産資株式会社

設　　立 ：1964年(昭和39年)10月1日
資 本 金 ：400百万円
事 業 所 ：本社 〒113-0034 東京都文京区湯島3-39-10(上野THビル)
埼玉事業所/大竹事業所 他
電 話 番 号 ：03-3837-0281(本社)
https://maedakosensanshi.jp/

未来のアグリ株式会社

設　　立 ：1953年(昭和28年)12月24日
資 本 金 ：60百万円
事 業 所 ：福島本社 〒960-8204 福島県福島市岡部字内川原33-4
札幌本社 〒065-0019 北海道札幌市東区北十九条東4-2-10 他
電 話 番 号 ：024-531-2711(福島本社)
011-711-6136(札幌本社)
https://www.mirai-no-agri.jp

未来テクノ株式会社

設　　立 ：2015年(平成27年)6月12日
資 本 金 ：30百万円
事 業 所 ：本社 〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルA館12F
水沢工場/胆沢工場
電 話 番 号 ： 03-6402-5915(東京本社)
https://www.mirai-techno.jp

沖縄コーセン株式会社

設　　立 ：2019年(令和元年)9月26日
資 本 金 ：30百万円
事 業 所 ：本社 〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1-10-16 沖縄パスビル2F
電 話 番 号 ：098-860-3404

株式会社 セブンケミカル

設　　立 ：1971年(昭和46年)7月9日
資 本 金 ：50百万円
事 業 所 ：本社 〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルA館12F
埼玉事業所
電 話 番 号 ：03-3366-2616(本社)
https://www.seven-chemical.co.jp/index.html

株式会社 犀工房

設　　立 ：1991年(平成3年)4月12日
資 本 金 ：20百万円
事 業 所 ：本社・工場 〒520-2163 滋賀県大津市上田上平野町337-3
電 話 番 号 ：077-549-1173
https://sai-kobo.co.jp/

株式会社 釧路ハイミール

設　　立 ：1984年(昭和59年)5月8日
資 本 金 ：43百万円
事 業 所 ：本社・工場 〒084-0917 北海道釧路市大楽毛8-10
電 話 番 号 ：0154-57-8822
https://www.kushiro-highmeal.co.jp

BBSジャパン株式会社

設　　立 ：1971年(昭和46年)7月29日
資 本 金 ：100百万円
事 業 所 ：高岡本社・工場 〒933-0313 富山県高岡市福田六家525
東京本社 〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルA館12F 他
電 話 番 号 ：0766-31-0021(高岡本社・工場)
03-6402-4090(東京本社)
https://bbs-japan.co.jp

未来コーセン株式会社

設　　立 ：1994年(平成6年)1月25日
資 本 金 ：30百万円
事 業 所 ：本社・福井工場 〒919-0101 福井県南条郡南越前町湯尾10-10-2
金沢工場
電 話 番 号 ：0778-45-2325(本社・福井工場)
https://www.mirai-kosen.jp

[海外]

MAEDAKOSEN VIETNAM CO.,LTD.

設　　立 ：2011年(平成23年)12月7日
資 本 金 ：5,000,000 USD
事 業 所 ：Lot B1-1, Dai Dong Hoan Son Industrial park, Hoan Son commune,
Tien Du district, Bac Ninh province, Vietnam
(ベトナム社会主義共和国バクニン省)
電 話 番 号 ：+84-222-3848-240

BBS Motorsport GmbH

設　　立 ：2011年(平成23年)11月
資 本 金 ：300,000 ユーロ
事 業 所 ：Im Muehlegruen 10 77716 Haslach i. K. Germany
(ドイツ連邦共和国)
電 話 番 号 ：+49 (0)78 32-960 95-00
http://bbs-motorsport-gmbh.com/

[投資育成事業]

前田工繊キャピタル合同会社

設　　立 ：2017年(平成29年)10月17日
事 業 所 ：本社 〒105-0011東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルA館12F

MAEDAKOSEN

group

CORPORATE PROFILE

https://www.maedakosen.jp

Printed In Japan
©MAEDAKOSEN 2025
C.2509.30.0209